



3年学年だより

発行日：令和4年1月31日（月）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：遠藤 広樹 NO. 9

新年の目標について

校長代理 富樫 哲一

新型コロナウイルス感染症は未だ終息が見通せない中ですが、新しい年を迎え一か月が過ぎました。授業の様子を見に行くと、各教室に冬休みの課題である書き初めが展示されています。1年生は「新たな決意」、2年生は「夢を信じる」、3年生は「友好の精神」という新年を迎えるのにふさわしい題材です。

この時期は、多くの人が気持ちも新たに新年の目標を設定することが多いのではないのでしょうか。今回、教室に展示されている書き初めは、あらかじめ題材が決められていましたが、本来ならば、それぞれが違った新年の目標、夢、決意について書き初めで表現し、残しておくのが適当なのかもしれません。

夢やそれに至るまでの目標を実現させるためにはそれに見合った努力が必要です。大きな夢や高い目標になればなるほど必要な努力も大きくなります。しかし、夢を実現させるためのこうした努力は皆さんの成長や飛躍に良い影響を与えることは間違いありません。

ここで皆さんに聞きたいことがあります。一年前の今頃、おそらく今年と同じように描いた夢や目標の実現状況はどうですか。夢や目標を立てたら、それが実現できたのかどうか、仮に実現できなかったとしても、どこまで自分はたどり着けたのか、またその夢や目標に向けて自分が1年間どのような努力を積み重ねてきたかを振り返ることは、とても意義あることだと思います。

振り返る際に心に留めておいてほしいことが一つあります。それは、夢や目標を実現できなかったとしても、さらに言えば、そのために自分が納得できるような努力ができなかったとしても、自分を責めないでほしいということです。

まだ10代の皆さんにとっては、夢や目標をもつこと、それだけで十分価値があることだと思います。それは皆さんが夢や目標について考えた時間は、自分や自分の今後の人生と向き合い、何らかの方向性を見出したものだからです。さらに、もし、その夢や目標のためにほんの少しでも努力できたのならば、自分を大いに褒めて、認めてあげてください。これからの人生も、「夢や目標を見つけ、その達成に向けて努力する」ことの繰り返しです。その繰り返しの中で、たとえ少しでも努力できた自分の価値を認めることを重ねていくことは、たとえ成功体験につながらなかったとしても、今後、皆さんが豊かな人生を送る源となることでしょう。

さて、今年の皆さんの夢や目標、決意したことはありますか。もし既に決まっているのであれば、頭に思い浮かべておくだけではなく、ノートに書くなど是非、文字に残して時々確認してみてください。新たに書き初めをするほど時間をかけなくても構いませんよ！

Best Reader 賞受賞！

4月～12月までに南高図書館で50冊以上本を借りた生徒をベストリーダー賞として表彰しました。今年度8期生で一番本を借りた人は、3組の■■■■さんでした！なんと139冊も借りたそうです。ベストリーダー賞に選ばれたみなさんには賞状の他、副賞としてファイルも送られました。辻さんから一言とお勧めの一冊について教えて頂きました。以下、コメントです。

この度、Best Reader 賞を受賞させていただきました辻です。このような賞を受賞させていただいてとても嬉しく思います。さて、私が本を好きになったきっかけとなったおすすめの本の話をしていきます。皆さんはNHKで放送されていた『大！天才テレビくん』をご存じでしょうか。アニメを日替わりで放送するコーナーがあったのですが、そのアニメのうちの一つにはまってしまいました。そして、小学3年生のころ、気まぐれで図書館に行ったら、小説コーナーにそのアニメの原作となった小説が置かれていました。その本が『黒魔女さんが通る！』（作：石崎洋二 出版：講談社）です。覚えている人も少なくないのではないのでしょうか。知らない人のために説明させていただくと、オカルト好きな小学5年生の黒鳥千代子（チョコ）がひよんなことから呼び出してしまったのはインストラクター黒魔女グュービッド。そこでチョコはグュービッドとともに（強制的に）黒魔女修行をすることになってしまいます。この本はグュービッドとチョコの掛け合いが魅力的で思わず笑ってしまうほど面白く、ストーリーも作りこまれているので次々とページをめくってしまいます。この本がきっかけで私は図書室に通うようになりました。皆さんにも自信を持ってお勧めできる一冊です。皆さんも南高図書館に足を運んでみてください。私みたいに一冊の本で本が好きになってしまうかもしれません。皆さんも本を読んでみてはいかがでしょうか。



↑辻さんおすすめの一冊



友好の精神

国語科の冬休みの宿題でもある書初め「友好の精神」を各教室そして廊下に展示しています。どれも上手に書けていました。昨年に引き続き行書での書初めでしたが、いかがでしたか？高校で書道の授業を選択しない限り、この先書初めをすることも少なくなるのではないのでしょうか。「太い字で書き、清々しい気持ちになりました。」という声もあり、ぜひ来年以降も新年の抱負を書き続けてほしいと思います。各クラスの金賞は以下の通りです。学校代表として、2組の■■■■さんの作品が1月19日から24日まで、桜木町にある市民ギャラリーに展示されていました。

☆金賞受賞者

1組	2組	3組	4組
■■■■ ■■■■ ■■■■ ■■■■ ■■■■	■■■■ ■■■■ ■■■■ ■■■■ ■■■■	■■■■ ■■■■ ■■■■ ■■■■	■■■■ ■■■■ ■■■■ ■■■■ ■■■■

